



蛇口をひねると、いつでもきれいでおいしい水が出てきます。

日ごろ見慣れた当たり前の光景。自宅でも、学校でも、公園でも、のどが渴けば、水道水をゴクゴクと飲むことができますよね。

でも、なんで湯河原の水はおいしいのでしょうか。

今回の特集は、湯河原の水道水がおいしいその理由に迫ってみました。

【問合せ】水道課 内線752

湯河原の水道水がおいしいわけ

湯河原の水道水の水源は、「河川水」と「湧水」の2種類です。どの水源も箱根山系の保安林（※）に囲まれているため、周辺には汚染源となる施設がなく、そのままでも軽く殺菌する程度で飲むことができます。

（※保安林とは、公益目的を達成するために、伐採や開発に制限を加える森林のこと）

湯河原の水道水の水源は、豊富な水量にも恵まれています。

東の新崎川、西の静岡県との県境でもある千歳川・藤木川は、1年中を通して枯れることなく、新幹線トンネルの南郷山の湧水も豊富です。

また、水源から蛇口までの距離が短いため、使用量に合わせ、必要な量を取水して消毒・ろ過を行うことができ、取水からろ過まで約半日、末端のご家庭までは半日～1日程度で新鮮な水を届けることができます。

浄水場から蛇口に届くまでの時間が長くなると、消毒のために入れる塩素の量が多くなってしまいますが、湯河原の水道では、塩素の量が必要最低限で済み、より新鮮な水を届けることができます。

水質検査は、皆さんに良質でおいしい水道水をご利用いただくため、水源から蛇口まで、水の状態の把握に努め、常に水質基準に適合した、安全な水であることを確認しています。

水質基準項目は、におい、色、味覚といったものや、健康に影響を与える化学物質に関するものなど50項目にも及びます。

毎月、町内の4か所から水を採取し、ナトリウム、カルシウム・マグネシウムなどのほかに、鉄、アルミニウム、pH値など、決められた水質基準項目を検査しています。

平成21年度に行った水質検査（毎月検査）では、全ての項目で基準値を十分にクリアしています。

また、このほかにも、町内8か所で町民の方などに委託して、水道水の色、濁り、消毒効果に異常がないか、毎日確認しています。

